早川町応援団獲得マガジン

やまたらけ

YAMADARAKE

DECEMBER
No. 8
2004

早川町が誇る源泉掛け流しの名湯を徹底分析！

温泉の偽表示問題に端を発し、温泉業界が揺れている。温泉法を改正する動きまで出ているなかで、温泉という言葉の再定義が迫られている。

そのような状況で、キーワードとなっているのが、湧き出た湯をそのまま浴槽に注ぎ込み、ありのままの温泉を提供する「源泉掛け流し」。心身を癒すという温泉の効果をより得られるという観点からも、各方面でその重要性が説かれている。

しかし温度や湧出量など、源泉の条件によっては、どうしても実現できないところも多々あると聞く。努力だけではどうにもならない。いかに条件の良い源泉に恵まれるかが鍵なのである。

我が早川町には、そんな大地の神に選ばれた「源泉掛け流し」の温泉が四つも存在する。それが西山温泉の「慶雲館」と「蓬莱館」、奈良田温泉の「白根館」と「町営奈良田の里温泉」だ。今回はこの四つの温泉の、泉質そのものに焦点を当て、その魅力をたっぷりと紹介する。

温泉は早川町が全国に誇る資源。その豊かさをお伝えするとともに、みなさんを冬の早川へ誘います。

西山温泉
慶雲館

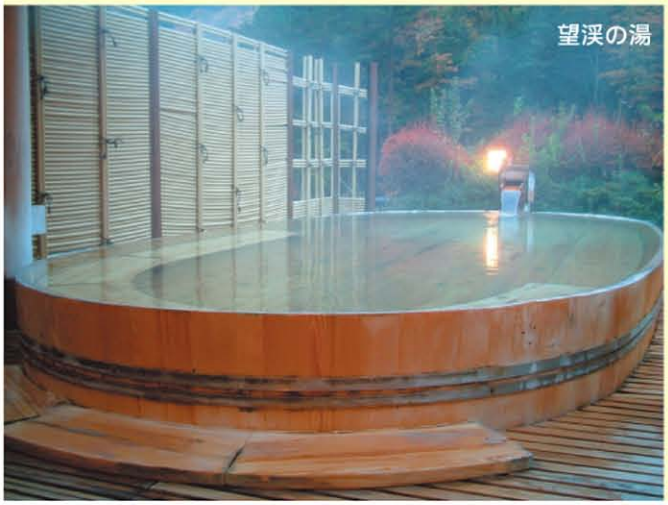
一三〇〇年の歴史を持つ四つの源泉と贅沢を極めた六つの湯

慶雲二年、西山を訪れた藤原真人が狩りの途中に温泉を発見した。その源泉を引くのが、この慶雲館。現在の館主で五六代目。歴史の重みを感じる宿だ。

穴湯、目湯、御座湯、御殿湯と四つの源泉から一三〇〇年の時を超えて流れ出す温泉が、大浴場（内湯）、露天風呂、そして貸し切り風呂、計六つの浴槽に注ぎ込む。この規模の温泉宿で、全ての浴槽が源泉掛け流しというのは、滅多にお目にかかれない。まさに贅沢の極み。浴槽からあふれ出すお湯を眺めていると、自然の恵みに感謝せずにはいられない。

ここのお湯は、無色透明。見た目とは裏腹に、複雑な味わい。薄い塩味、たまご味、そして鉄の味を強く感じる。鉄分を多く含んでいるのは、ここだけの特徴。なるほど、婦人病に効果があるというのもうなずける。また、他の温泉と同様、胃腸病や糖尿病にも効果大。糖尿病を患った従業員が、半年間温泉を飲み続けて完治したという。二〇Lのポリタンク四、五本に温泉を詰めて持ち帰り、なくなるとまた泊まりに来るという常連客もいる。

今は高級旅館として名実ともに不動の地位を築いているが、武田信玄、徳川家康を始め、多くの戦国武将が体を癒したこのお湯に入れば、あなたもたちまち殿様気分になれる。


望渓の湯

無色透明だが、味は複雑。鉄分が入っているのは、他の温泉には見られない特徴。

泉質：ナトリウム・カルシウム−塩化物泉
源泉の温度：46℃
pH：9.35（アルカリ性）

奈良田温泉
白根館

湯の力強さに誰もが圧倒 大地の恵みに感謝

南アルプスの主峰、白根三山の麓に位置するのが白根館。大地が隆起し形作った三〇〇〇mを越える山々の、そのエネルギーを丸ごと体感できるのがここだ。

源泉は二つあり、奈良田に伝わる七不思議伝説になぞらえて名付けられたのが、「七不思議の湯」。白根館がある奈良田は、昭和三四年のダム建設で移転を余儀なくされた。それまで集落の人々が洗濯に重宝していた、七不思議の一つ「洗濯池」を掘り出したのがこの源泉だ。赤茶色の湯の花が無数に浮かぶ。あるお客が、この湯を羊水のようだと表現した。母なる大地が生み出す恵みの湯が、我々の体を優しく受け止めてくれる。

平成九年には、もう一つの源泉「銀河の湯」を掘り当て石造りと桧造りの露天風呂を増設した。こちらは強い硫黄臭と塩分が特徴で、圧倒的な迫力で体に迫ってくる。炭酸が多く、細かい気泡が体にまとわりつく。とろみもあり、手で体をさわると、その間に一枚の膜があるような感覚を覚える。この日は薄いグリーンだったが、透明、エメラルドグリーン、白濁と、日々刻々とその表情を変えるのも、この湯の特徴。湯を出た後も、手や体は硫黄の臭いが染みつき、温泉の余韻をいつまでも楽しむことができる。

優しい七不思議の湯、力強い銀河の湯。性格の違う二つの湯が、温泉の醍醐味を教えてくれる。ここ白根館は、名湯中の名湯だ。

桧の露天風呂　銀河の湯

入った瞬間に温泉の濃さを感じる。色は日によって変化するが、本日は薄い緑色。黒い湯の花が浮かぶ。

銀河の湯
泉質：含硫黄−ナトリウム−塩化物泉
源泉温度：50.1℃
pH：8.5（弱アルカリ性）

西山温泉 蓬莱館

湯治場の面影と独特の湯の花が心と体を癒す

かつての湯治場の面影を今に残すのが、ここ蓬莱館。西山温泉特有の柔らかいお湯が、体を優しくつつむ。源泉をそのまま湯船まで届けるのが、この宿のこだわり。飲泉の許可を得ているのが、源泉と浴槽が分湯や混合をせずに直結していることの証。そして、浴槽も源泉で満たせるだけの大きさしか作らない。それが、かたくなに混浴で通している理由。

この湯の最大の特徴は、湯の花。山吹色の湯の花が湯の中で踊っているのを見ると、世の中にはまだまだ不思議なことがあるもんだと感心してしまう。湯ノ花は、その量も大きさも気まぐれだ。ときに細かな湯の花が浴槽を一面山吹色に染めることもあれば、カズノコ大（写真右）の湯の花がぼろぼろと出てくることも。出方に法則はない。見られるかどうかは、あなたの運次第。湯に舞う湯の花をつまんでみた。おぼろ豆腐のような手ざわり。あっという間に湯に溶けて形がなくなった。この湯の花を体に塗りつけるのもまた一興。

多くの湯治客がいまだに訪れるだけあって、湯の効能にも定評がある。アトピーの子どもが、年に数回、一週間程度の湯治によって完治した例もある。胃腸病、神経痛、リウマチ、婦人病などにも効果がある。

湯十日という言葉があるように、長期間のんびりと滞在し、気の向くままに湯に浸かり心身を癒す。そんな昔ながらの湯治のスタイルが、ここではいまだに息づいている。本来あるべき温泉と人間の関係を思い出させてくれるのが、ここ蓬莱館だ。

山吹色の湯の花が、見た目にも鮮やか。硫黄臭がかすかに漂い、浴感はとても柔らかい。

泉質：ナトリウム・カルシウム－塩化物・炭酸水素塩泉
源泉の温度：41.3℃
pH：9.21（アルカリ性）

町営 奈良田の里温泉

女帝が優しく微笑む つるつるお肌の美人の湯

ぬるぬる、つるつる。これが、この温泉の最大の特徴。ここまでぬめりのある温泉は、全国探してもそうはない。地元産の白鳳石を敷き詰めた床も、檜造りの浴槽も、すべてがこの湯の独特な成分のおかげでぬるぬるだ。

滑って転ばないように気をつけながら、浴槽に足を踏み入れる。ねっとりとした湯が体にまとわりついてくる。ここで、ふ～っと一息。お湯をよく眺めてみると、細かな白い湯の花が無数に浮いている。炭酸も多く含まれており、体はいつのまにか気泡に包まれる。お湯はぬるめ。江戸っ子には物足りないかもしれないが、のぼせることもなく長時間入っていられるのが、この温泉のいいところ。1時間は当たり前。2時間、3時間浸かっている常連客も多い。注ぎ口から源泉を飲む。口当たりのなめらかで、とても飲みやすい。ちょっとしょっぱく、硫黄のにおいもかすかに感じることができた。

洗い場にも、また源泉が使われている。頭や体を何度流しても、当然ぬるぬる。洗い流してさっぱりとはいかないが、肌は一皮むけたようにつるつるだ。そして、温泉を出て体を乾かすと、肌は次第にしっとり感に変わり、服を着ると体の芯から暖まってくるのを感じることができる。駐車場までは少々歩くが、抜群の保温効果で湯冷めする心配は全くない。

女帝・孝謙天皇が奈良田に遷居した際に、体を癒したという奈良田の温泉は、女性には嬉しい美肌の湯だ。

優しさにほっとする。そんな表現が、この温泉にはぴったりだ。

不思議なほどのぬめり感。白い細かな湯の花が無数に浮かぶ。ほのかな塩味と硫黄臭が特徴。

泉質：ナトリウム－塩化物・炭酸水素塩泉
源泉の温度：42℃
pH：8.6（弱アルカリ性）

■新着 NEWS

西山農園温泉(仮称)

もちろん源泉掛け流し

来年夏にいよいよオープン！

西山地区上湯島集落の西山自然農園地内に湧出した温泉が、いよいよ形になります。現在、来年夏のオープンに向けて、施設を設計している段階です。

この源泉は、薄い塩味と硫黄のにおいが特徴的。湧出量もたっぷり、源泉温度も高く、非常に気持ちの良いお湯です。今回紹介した４つの温泉にも、優るとも劣りません。

早川の大自然を存分に体感できるよう、露天風呂中心の施設を考えています。早川の新しいホットスポットに、ご注目下さい！

泉質：ナトリウム-硫酸塩・塩化物泉
源泉の温度：47℃
pH：9.60（アルカリ性）

西山・奈良田温泉ガイド

今回ご紹介した４つの温泉は、全て日帰り入浴が可能です。

温泉巡りを楽しもう！

宿泊に関しては、個別に宿にお尋ね下さい

早川の旬直送便

できたてほやほや 山葡萄ワイン 恋紫2004をお届けします！

早川の気候風土が育てた山葡萄（ヤマ・ソービニオン）を原料にした、本格赤ワインです。クリスマスやお正月にいかがですか？

恋紫2004
フルボトル（720ml）2,000円
ハーフボトル（360ml）1,200円
※別途送料が700円かかりますので、数本まとめてご注文いただけるとお得です。

お得なセットもご用意しました！

Aセット

Aセット：1,800円
恋紫(ハーフ)×１本
山葡萄ワインゼリー(５個入り)

Bセット：2,500円
恋紫(ハーフ)×１本
山葡萄ワインゼリー(５個入り)
手造りロースハム×１パック
手造りウインナー×１パック

Cセット

Cセット：3,000円
恋紫(フルボトル)×１本
手造りロースハム×１パック
手造りウインナー×１パック
手造りベーコン　×１パック

※別途送料が700円かかります。

ご注文はこちらへ
(財) 南アルプスふるさと活性化財団
☎ 0556-45-2507

やまだらけツアー第６弾「早川の紅葉と渓谷を描く！」を開催しました！

11月21日、やまだらけツアー第６弾「早川の紅葉と渓谷を描く」を開催しました。埼玉県在住の藤田晴海さんを講師としてお招きし、紅葉が美しい白糸の滝、白鳳渓谷、見神の滝を回り、絵手紙を描きました。

参加者は、子どもから大人まで、総勢16名。絵筆を持つのは数十年ぶりという方もいましたが、藤田先生の手ほどきを受けながら、紅葉の山々、流れ落ちる滝の様子など、早川の美しい風景を描くことができました。お天気にも恵まれ、のんびりいい一日を過ごすことができました。

こんな絵が描けました！

■NEXT やまだらけ

次号特集（来年１月下旬お届け予定）

「大豆の恵み 活用の知恵と技」

大豆への関心が高まっています。食の安全を求め、国産大豆への需要が増えたのは、もう数年前。最近では、大豆イソフラボンという成分が健康にいいと注目されました。だけど、日本人なら大豆を食べるのは当たり前。味噌も醤油も、豆腐も納豆も、ぜ～んぶ大豆からできている。結局は、過去のライフスタイルが見直されたんだと捉えています。

早川町では、そんな当たり前でなくなった大豆と人間の関係が、いまだに続いています。大豆栽培はもちろん、味噌や豆腐づくりも家庭で普通にされています。早川町民と大豆の、切っても切れない関係にご注目！

■読者の声

●今回から新テーマと思われるほど、早川町へ移住の話は実例として、インパクトがありました。単なる観光紹介より強力でした。続いていつか、他の人の実例も紹介してください。（長崎県Ｉさん）

■ありがとうございます。早川町には、浦邊夫妻の他にも、移住して来た方がたくさんおります。それぞれ移住の動機も、暮らしぶりも様々で、とても個性的です。また折を見て、ご紹介したいと思います。

お詫び

10月10・11日に品川区で開催された「しながわ夢さんぱし2004」。我々も参加し早川をPRする予定でしたが、前日からの台風で国道が通行止めになり、やむなく参加を諦めた次第です。会場を訪れて下さった方がいると聞いております。ご連絡できず、申し訳ありませんでした。この場を借りてお詫び申し上げます。

今号の取材で、紹介した４つの温泉全てに入りました。そこで、温泉の素晴らしさを改めて感じるとともに、それを守り続ける経営者の方々の努力にも感服いたしました。身近にあると当たり前になりがちですが、温泉はやはり早川町最大の魅力。ずっと大切にすべき資源です。２日で４カ所の温泉巡りは、まるで小旅行。早川に住んでて良かったと実感した時間でした。あ～幸せ。

【山を覗けば宝の山 やまだらけ】
発行元／フィールドミュージアム運営委員会
住　所／山梨県南巨摩郡早川町茅袋430　〒409-2727
電　話／0556-45-2160　ファクシミリ／0556-45-2268
ホームページ／http://www.town.hayakawa.yamanashi.jp/fm/